

## AV MATERIAL

## ニュースクリップ &amp; 映像教材

## ■「ICT教育首長地域サミットin 四国」開催される

文部科学省主催による標記サミットが、平成30年3月20日(火)、西条市総合文化会館小ホール(愛媛県西条市)において開催された。文部科学省生涯学習政策局梅村情報教育課長による行政説明、全国ICT教育首長協議会横尾会長のビデオメッセージ、西条市玉井市長による講演、トークセッション「首長のリーダーシップで実現する教育のICT化」等が行われ、全国から首長や教育委員会関係者など、140名が集った。



## 文部科学省情報

## ■平成30年度子どもの読書活動推進フォーラム

文部科学省、国立青少年教育振興機構の主催により、「子ども読書の日」記念として標記フォーラムが開催される。

〈日時〉平成30年4月23日(月)13:00~16:50

〈会場〉国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール他(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

〈内容〉特別講演「小さな人々への応援歌」とよだかずひこ氏(絵本作家)、事例発表と対談、表彰式等。要事前申込。定員になり次第締切。

〈問い合わせ先〉国立青少年教育振興機構教育事業部事業課 TEL 03-6407-7685

## ■平成30年度「第21回文化庁メディア芸術祭」

## 受賞作品決定

文化庁メディア芸術祭実行委員会主催により、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに受賞作品の鑑賞機会を提供する標記芸術祭

では、このたび過去最多となる世界98か国と地域からの応募作品4,192の中より受賞作品を決定した。アニメーション部門大賞には、「この世界の片隅に」「夜明け告げるルーのうた」の2作品が同時の大賞となった。贈呈式は、平成30年6月12日(火)、国立新美術館(東京都港区)において、また、受賞作品展は同月13日(水)~24日(日)同館他において開催される。詳細は、下記を参照のこと。<http://festival.j-mediaarts.jp/>  
〈問い合わせ先〉文化庁メディア芸術祭事務局 CGARTS内 TEL 03-3535-3501

## AV情報

## ■第47回NHK番組技術展

NHKは、放送を支える新技術を直接“見て・触れて・知って”もらう標記展示会を開催する。

〈日時〉平成30年4月22日(日)~24日(火)10:00~17:00

〈会場〉NHK放送センター4階正面玄関ロビー(東京都渋谷区神南2-2-1)

〈内容〉全国のNHK放送の現場で開発した最新

## 全国ICT教育首長協議会情報

### 「特別企画 首長サミット」教育ITソリューションEXPO(EDIX)と同時開催

全国ICT教育首長協議会は、「教育ITソリューションEXPO(EDIX エディックス)」の中で、「特別企画 首長サミット 学校教育の最新動向を文部科学省とICT先進自治体の首長が語る(仮称)」を開催する。

同協議会は、第4次産業革命など日々加速する情報化潮流の中、未来を拓く人材育成が急務であるとして、2017年には教育ICT加速化のための財源確保、制度改革等に関する「提言2017」を採択し、国に対し働きかけを行っている。

今回の「首長サミット」では、平成30年度からの国のICT教育関連予算が増額される見通しであることを受け、昨年行った「提言2017」からさらに具体的な実現に向けて、地域の教育情報化を推進するための予算確保や確実な活用について、ICT先進自治体の首長が討議するシンポジウムを行うとしている。

サミットの後にはEDIXによる「展示会 首長視察ツアー」も予定されており、地域へのICT導入を検討している自治体首長や教育委員会幹部にとっては具体的・体験的に情報収集できる貴重な機会となりそうだ。

〈期日〉平成30年5月16日(木)

〈会場〉東京ビッグサイト西ホール(東京都江東区有明3-11-1)

〈内容〉

○特別企画 首長サミット 10:00~11:30

・基調講演

文部科学大臣政務官 宮川典子氏

・シンポジウム

ICTを推進する先進自治体首長が学校へのICT導入・推進について討議

[全国ICT教育首長協議会 役員]

佐賀県多久市長 横尾俊彦(会長)

福島県郡山市市長 品川萬里

茨城県つくば市長 五十嵐立青

東京都荒川区長 西川太一郎

長野県喬木村長 市瀬直史

滋賀県草津市長 橋川渉

大阪府箕面市長 倉田哲郎

佐賀県武雄市長 小松政

熊本県山江村長 内山慶治 ほか(予定)

○展示会 首長視察ツアー 12:00~13:00

展示会事務局によるブース案内・説明。

○総会 14:00~15:00

※EDIX開催期間中(5月16日~18日)は700社展示ブースを自由に見学できる。

詳細は、下記を参照のこと。https://ictmayors.jp/

〈問い合わせ先〉全国ICT首長協議会事務局(一財)

日本視聴覚教育協会内 MAIL info@ictmayors.jp

の放送機器と番組制作や緊急報道への多彩な取組を紹介。詳細は、下記を参照のこと。

https://www.nhk.or.jp/bangiten/

〈問い合わせ先〉NHK放送センター

TEL 03-3465-1111

#### ■第30回すかがわ国際短編映画祭

すかがわ国際短編映画祭実行委員会、須賀川市、須賀川市教育委員会主催により、広く映像文化に対する理解を深めるとともに、地方文化の振興と国際文化交流を推進することを目的に標記映画祭が開催される。

〈日時〉平成30年5月12日(土) 9:30~17:30・

13日(日) 9:30~18:20

〈会場〉須賀川市文化センター大ホール(福島県須賀川市牛袋町11)

〈内容〉監督 庵野秀明氏らによるゲストトーク、世界中からよりすぐったドキュメンタリーやアニメーションなど33本の短編映画上映等。詳細は、下記を参照のこと。http://sisff.littlestar.jp/

〈問い合わせ先〉すかがわ国際短編映画祭実行委員会事務局 須賀川市文化スポーツ部文化振興課内 TEL 0248-88-9172

#### ■講座「小学校でのプログラミング教育入門」

東京学芸大学では、公開講座の一貫として、標

## 「三訂版 教育の方法と技術」



平沢 茂 編著  
 図書文化 発行  
 2018年2月20日刊  
 A5判、204頁  
 2,000円（税別）

「教育職員免許法施行規則」に定められている教職科目「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」のテキストとして、2006年2月に本著の初版が出版された。2014年2月の改訂を経て、この度、新学習指導要領の公示や教職課程コアカリキュラムの発表などを受けて、三訂版が刊行された。

「教育の方法及び技術」のテキストは、執筆者の背景が教育方法学であるか、教育学であるか、教育実践であるかによって、内容が大きく異なりがちである。いきおい、ICT教育やID一辺倒、教

育方法史通説などになりがちである。その点、本著はヘルバルト学派の5段階説などの教育方法の理論やプログラム学習などの教育学の理論をベースにしながら、理論や学説の解説にとどまらず、その授業での活用や実践を重視している。

本著はまた、カリキュラム・マネジメントや国際バカロレアなどの教育方法・技術の最新の話題を取り上げつつ、それらが登場した理論的背景を示している。教職に就こうという学生にとっては、理論を実践に活かすことも、不易を流行につなげることも重要であろう。本著は種々の観点から、内容のバランスが取れたテキストであるといえる。

本著の構成上の特長は2つある。一つ目の特長は、第1章で「教育方法」、「教授法」などの教育方法・技術に関わる基礎概念を整理し、その規定に基づいて後の章を展開している点である。教育用語はとかく概念が広く、多義的であることが多い。そのため、扱う概念を定義しておかないと議論が錯綜しがちである。二つ目の特長は、各章末に「演習問題」を設けている点である。近年、欧米に倣って演習付きの大学テキストは増えているが、学生の内容理解の確認や授業での議論などに役立てられよう。その際、先述の用語の概念規定が効いてくる。（関東学院大学教授 吉田広毅）

記講座を開講する。

〈日時〉 平成30年6月16日（土）13:00～17:00  
 〈会場〉 東京学芸大学新たな学びの部屋教育実践研究支援センター1号館3階（東京都小金井市貫井北町4-1-1）

〈対象〉 小中学校教員、保護者、教育関係者。

〈内容〉 プログラミング教育入門・小学校教育課程へのプログラミング教育導入の背景と学習指導要領の解説、学習指導要領に沿ったプログラミング教育実践事例の紹介と体験。要事前申込。募集期間は平成30年5月26日（土）まで。ただし、先着順、定員（24人）になり次第締切。

〈問い合わせ先〉 東京学芸大学総務部広報企画課  
 地域連携係 TEL 042-329-7119

### ■平成30年度「教科書研究奨励金」公募

（公財）中央教育研究所では、若手の研究者による教科書に関する研究の発展と日本教育の改善を目的とし、教科書に関連する研究に奨励金を交付しており、その交付先を公募している。

〈助成対象〉 日本および諸外国の学校またはその他の教育機関で使用されている教科書についてのさまざまな研究。教科は問わない。

〈応募資格〉 大学院生、大学教員、研究者。個人研究または共同研究。共同研究の場合は、代表者1名が応募のこと。

〈交付金額〉 1件につき20万円。

〈締切〉 平成30年4月25日（水）

〈問い合わせ先〉 （公財）中央教育研究所

TEL 03-5390-7488

## コンクール情報

## ■第2回日本こども映画コンクール受賞作品決定

小・中学生が制作した映像作品を対象とした(株)毎日映画社主催による標記コンクールの受賞作品が決定した。応募総数は、昨年の1.5倍となる158本。最高賞にあたるグランプリには、いじめを作品のテーマに島根県出雲市の中学生が制作した「届かない声」が選ばれた。続く準グランプリ賞他全18作品が入賞。

なお、入賞作品は<https://www.japan-jfa.net/>にて視聴できる。

〈問い合わせ先〉日本こども映画コンクール事務局 (株) 毎日映画社内 TEL 03-3518-4112

## ■第59回科学技術映像祭入選作品決定

優れた科学技術映画を選奨することを目的に、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団主催による標記映像祭において入選作品が決定した。内閣総理大臣賞 研究・技術開発部門「奇跡の子どもたち 寝たきりの希少難病の患者と家族を10年間追った“感動のドキュメント”」、文部科学大臣賞 教育・教養部門「NHKスペシャル シリーズ人体 第1集“腎臓”が寿命を決める」他、入選作品については、下記を参照のこと。

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

なお、全入選作品を平成30年4月19日(木)・20日(金)の両日にわたり、科学技術館サイエンスホール(東京都千代田区北の丸公園2-1)において上映し、順次、全国各都市においても上映会を開催予定。

〈問い合わせ先〉科学技術映像祭事務局(公財)日本科学技術振興財団内 TEL 03-3212-8487

## 文部科学省選定作品

## ■2月選定 紙しばい／DVD

「いたずらこひつじ」紙8枚〈幼稚園／幼児、教養〉(株)童心社

「ぼく、まだねむいんだ」紙12枚〈小学校低学年／幼児、教養〉(株)童心社

「Global Navigation II ～世界と地域間を結ぶ交通

とそれを支える人たち～」DVD18分〈中学校、社会〉(株)放送映画製作所

「中学生の高校受験対策シリーズ①将来の生き方を考えた進路選択～多様化する高校選択に向けて～」

DVD26分、「同シリーズ②面接で合格を勝ち取る～受験生の身だしなみとマナー～」

DVD20分、「同シリーズ③面接の種類によるプレゼンテーション～情熱的に伝えるには～」

DVD22分、「同シリーズ④高校が期待する生徒～高校生活を生き生きと送るために～」

DVD18分〈中学校、特別活動〉(株)映学社

「映像で学ぶ葉害シリーズ 葉害の知識と教訓 葉害ヤコブ病事件」

DVD26分〈青年・成人、職業の知識技術(医療・福祉)〉(株)メディアバンガード

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/movie/main9\\_a1.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm)

## 短信

## ■文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動

平成30年4月1日付

○情報教育振興室室長補佐 稲葉敦氏→福井大学准教授○庶務係長(併)メディア係長 細野蔵氏→大臣官房総務課専門官(併)総務班総務係長○専門職 坂本隆典氏→長崎県教育庁義務教育課義務教育班指導主事○情報教育振興室情報教育企画係長 松本博幸氏→千葉県印西市立原山小学校校長○教育情報施策調整係 竹谷政彦氏→教育情報施策調整係長○教育情報施策調整係 二見英里氏→初等中等教育局幼児教育課振興係○初等中等教育局教育課程課課長補佐 小林努氏→情報教育振興室室長補佐○研究開発局開発企画課専門職 宇佐美大輔氏→庶務係長(併)メディア係長○長崎県教育庁義務教育課指導主事 鶴田浩一氏→専門職○千葉県八千代市立勝田台小学校教頭 池浦一寛氏→情報教育振興室情報教育企画係長○新規採用 大村友花氏→教育情報施策調整係○学習情報係 多田千紘氏→金沢大学企画評価室企画係○情報教育振興室専門職(情報モラル教育等担当)付 鈴木大輝氏→静岡県教育委員会○東京都渋谷区 古閑美菜子氏→学習情報係○大阪府箕面市総務部財政経営室財政経営グループ 荒井愛氏→情報教育振興室専門職(情報モラル教育等担当)付